

仕様書

1. 件名 長期収録型水中録音機 レンタル

2. 研究の概要

産業技術総合研究所（以下、産総研という。）地質情報研究部門では、独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構の「令和7年度コバルトリッチクラスト開発対象海域の環境影響評価等に係る検討業務」を実施しており、コバルトリッチクラストの開発を目指して、環境ベースラインの収集と環境影響評価に係る研究を実施している。調査の一環として、独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構が所有する調査船「白嶺」を用いて、洋上調査が企画されている（予定調査航海期間：2025年7月27日～8月23日）。水中音の長期ベースライン観測は、環境影響評価に必須なものであるため、長期収録型水中録音機をレンタルにて調達し、この調査船「白嶺」にて、排他的経済水域の海山の海底に設置回収して、必要な水中音を観測するものである。調査船「白嶺」の出港港である下関商港で調達請求者が長期収録型水中録音機受け取り、レンタル期間の開始とする。なお受注者はレンタル開始前に、下関商港で、必要な事前点検と観測設定を行うこと。また、想定される機材の一部が輸出管理規制対象品のため、輸出管理手続きに必要な該非判定書の作成も合わせて行うものとする。

3. 仕様

長期収録型水中録音機のレンタル、ならびにレンタル開始前の事前点検と観測設定をする。詳細は以下のとおり。

3-1. 長期収録型水中録音機のレンタル

レンタル期間：2025年7月25日（金）～9月24日（水）（2ヶ月間）

長期収録型水中録音機の仕様：別紙1のとおり。

レンタル機材受取場所：〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目18-55

下関商港 第二突堤 16号岸壁

調査船「白嶺」気付 産業技術総合研究所宛

レンタル機材返却場所：〒305-8567 茨城県つくば市東1丁目1-1

産業技術総合研究所つくばセンター中央事業所7群

または、受注者指定場所へ返却

3-2. レンタル開始前の事前点検と観測設定

場所：3-1記載のレンタル機材受取場所

期間：2025年7月25日（金）

完了報告書の提出：事前点検と観測設定後、それらの結果を記した完了報告書（1部）を提出すること。提出方法は、紙媒体、ないし指定 URL からのダウンロード、メール添付による提出のいずれも可能とする。

完了報告書の提出期限：2025 年 8 月 4 日（月）

3-3. 該非判定書の作成

- ・長期収録型水中録音機の安全保障・輸出管理手続きに必要な該非判定書（ないし非該当証明書）の作成
- ・納品形態・提出方法：紙媒体、ないし指定 URL からのダウンロード、メール添付による提出のいずれも可能とする。
- ・該非判定書納品先及び期日

納入期限：2025 年 8 月 4 日（月）

納品場所：国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門研究部門
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
つくばセンター中央事業所 7 群 7-3B-214 室

4. 履行の完了

本件は、レンタル機材の返却をもって履行の完了とする。

5. 貸与品

特になし。

6. 納入物品

- ・該非判定書（ないし非該当証明書）1 部（3-3 を参照のこと）
- ・完了報告書 1 部（紙媒体または電子媒体）（3-2 を参照のこと）

7. 付帯事項

- ・本仕様書の技術的内容および知り得た情報に関しては、守秘義務を負うものとする。
- ・本仕様書の技術的内容に関しては、調達請求者の指示に従うこと。
- ・仕様書に定めのない事項および疑義が生じた場合は、調達担当者と協議のうえ決定する。

長期収録型水中録音機の仕様

1. 装置の基本構成

(1) 長期収録型水中録音機 1 式

- (a) 録音機本体
- (b) ハイドロフォン
- (c) 輸送容器

2. 基本構成別仕様

2-1 長期収録型水中録音機

(a) 録音機本体

- ・ 最大水深 1,500 m での使用が可能な耐圧性能を有すること。
- ・ ハイドロフォン (1 台) を接続し水中録音が可能であること。
- ・ ハイドロフォンからの信号を増幅するためのアンプ (信号増幅) 機能を有し、水中音のゲイン調整、特定周波数帯のフィルター機能を有すること。
- ・ サンプリング周波数として 200 kHz 以上を選択できること。
- ・ 量子化ビット数が 24 ビット以上であること。
- ・ 連続録音のほか、間欠録音機能を有すること。また、タイマー録音に対応していること。
- ・ 録音データを本体内部に保存できること。長期録音に備えて、容量は 8 T B 以上であること。
- ・ 録音形式として、リニア PCM 録音に対応していること。
- ・ ファイル形式として WAVE 形式 (.wav ファイル) をサポートすること。
- ・ 内蔵バッテリーはアルカリ電池又はリチウム電池が利用でき、必要に応じて電池交換が可能なこと。
- ・ サンプリング周波数 48 kHz で、50 日以上連続録音が可能。また、5 分録音、55 分休止の間欠録音で 300 日以上録音が可能。
- ・ 水中録音の設定作業を行うソフトウェアが付属すること。

(b) ハイドロフォン

- ・ 最大水深 1,500 m での使用が可能な耐圧性能を有すること。
- ・ 水中録音機本体に接続し水中録音が可能であること。
- ・ 可聴周波数域（可聴域）が 10 Hz～100 kHz であること。

(c) 輸送ケース 1 台

- ・ (a) 録音機本体と (b) ハイドロフォンおよび付属品を収納し、輸送に耐える輸送ケースであること。

以上